

創立150周年記念事業を終えて



美しい紅葉に、目も心も癒やされる日が続いています。

先週の音楽会では、多くの保護者の皆様に参観していただきありがとうございました。子供たちは、練習の成果を存分に発揮する姿を見せてくれました。ステージへ向かうときは、照れたような、緊張したような表情でしたが、演奏が終わるととても素敵な笑顔で、誇らしげに見えました。中には、感動して途中で泣きながら演奏する子、教室へ帰って涙する子もいたようです。時間をかけて積み重ねてきた成果を、全力で披露した安堵感と達成感で感極まったのではないかと思います。一人一人に、大きな拍手を送りたいと思います。

11月には、創立150周年記念事業が続き、全ての事業を終了いたしました。ホームページの「ふしゅうこ日記」で紹介してきましたが、ここで記念事業について振り返りたいと思います。

本年度が始まって、まず5月に航空写真を撮影しました。航空写真で撮影した写真のクリアファイルを先週配布しました。ご家族でご覧いただければと思います。そして6月には、記念給食としてバームクーヘンのデザートを提供していただきました。PTAの皆様、ありがとうございました。

9月26日は、大学の先生方、データサイエンス学部の皆様、ファイナンシャルプランター、元Jリーガーの方に来ていただき、「であう学習」を実施しました。それぞれの専門分野の「本物」の方に出会い、学習したことは、子供たちの心に何らかの「火を点す」ことに繋がりました。

11月18～21日には、本校に勤務したことがある教員OBによる「先輩に学ぶ」（各学級で、教員OBの専門教科で授業）を実施しました。子供たちが、夢中になって活動に参加したり考えたりする姿が見られました。教員OBの皆さんの授業にかける思いが熱く、私たち教員も勉強になりました。子供たちが楽しく学ぶためには、まずは教員が楽しむことが大事ということを体現していただいたように思います。本校の卒業生、また他校で教員OBに教わった保護者の方もいらっしゃったようで、授業後に保護者の方の話で盛り上がっている場面もありました。授業を終えた後に教員OBの皆さんから、「やはり附属の子供たちは賢いな」「よく考えて学習している」「よい反応を返してくれるので楽しかった」と子供たちをたくさん褒めていただきました。

11月21日には、記念式典を行いました。滋賀県知事をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席いただいた中で、素敵な式典を行うことができました。6年生児童の挨拶を聴きながら、附属小学校のよい伝統が受け継がれていくことを実感しました。

11月22日には、本校を会場に、大同窓会が開かれました。26～89歳までの方が約300名集われました。感動の再会場面に立ち会うことができました。懐かしい話で盛り上がりおられました。

記念事業をとおして、附属小学校を大事に思っている方がたくさんいらっしゃる事がわかりました。歴史と伝統を大事にしつつ、時代に寄り添い、「いまを生きる」子供たち、保護者の皆様とともに新しい附属の歴史を刻んでいきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。（文責 齋藤 昌代）